

## 2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 2 日作成)

小委員会名	音環境規準検討小委員会	主 査 名：平松 友孝 就任年月：2010 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (音環境運営委員会)	委員長名：佐土原 聡 主 査 名：濱田 幸雄
設 置 期 間	2010 年 4 月～2014 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会は、今後順次制定していく音環境規準について、次の事項を遂行することを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作成・改訂する音環境規準の検討・決定</li> <li>○ 作成・改訂スケジュールの検討・決定</li> <li>○ 作成・改訂体制の検討・決定</li> <li>○ 遮音性能規準の考え方等全体に影響を及ぼす事項の検討</li> <li>○ WG による音環境規準 WD の作成・改訂</li> <li>○ 企画刊行運営委員会移行後のフォロー</li> <li>○ 作成に関する全体マネージメント</li> </ul> <p>2010 年度： 2009 年度 WG にて活動した①遮音性能規準、②集合住宅遮音設計指針の作業グループを本小委員会傘下の WG として設置し、集合住宅遮音性能規準と集合住宅遮音設計指針の WD を作成に着手する。全体マネージメント。</p> <p>2011 年度： WG にて WD を完成する。全体マネージメント。</p> <p>2012 年度： 集合住宅遮音性能規準企画刊行小委員会と集合住宅遮音設計指針企画刊行小委員会の CD 作成、内部査読、DS 作成、シンポジウム開催、パブコメ募集をフォローする。全体マネージメント。</p> <p>2013 年度 集合住宅遮音性能規準と集合住宅遮音設計指針の AIJES の FDS 作成、外部査読、ES 完成、講習会開催、出版をフォローする。全体マネージメント。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：</p> <p>主査 平松 友孝 (音・環境研究所)、幹事 池上 雅之 (大林組)、井上 勝夫 (日本大学)、岩瀬 昭雄 (新潟大学)、岡野 利行 (竹中工務店)、古賀 貴士 (鹿島建設)、佐久間哲哉 (東京大学)、田端 淳 (大成建設)、中澤 真司 (鉄建建設)、羽入 敏樹 (日本大学)、浜田 幸雄 (日本大学)、平光 厚雄 (建築研究所)、福地 智子 (永田音響)、宮島 徹 (清水建設)、吉村 純一 (小林理研)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	遮音性能規準 WG と集合住宅の遮音設計指針 WG を設置し、集合住宅遮音性能規準と集合住宅遮音設計指針の WD を作成した。2012 年度から廃止。それぞれ 12 回 WG を開催した。	
2011 年度予算	57,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	

<p>催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)</p>	
<p>大会研究集会</p>	
<p>対外的意見表明・パブリックコメント等</p>	
<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 遮音性能規準、集合住宅遮音設計指針のWGにて①集合住宅遮音性能規準、②集合住宅遮音設計指針のWDを作成。</li> <li>2. WGにおける実施事項の調整・決定・指示。</li> </ol>
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. AIJES はなるべく早く作成する必要性からかなり厳しい行程を組んでいる。手弁当での委員会活動において本作業を進めていることの難しさがある。</li> </ol>

## 2011 年度 音環境規準検討小委員会活動 自己評価

### (中間年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A <del>B</del> ————— C ————— D —————
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>遮音性能規準 WG と集合住宅遮音設計指針 WG を本小委員会傘下に設置して集合住宅遮音性能規準と集合住宅遮音設計指針の AIJES の WD を作成したことは、当初の計画通りであることから、高い評価と判断する。これを受け 2012 年度より、企画刊行委員会内に立ち上げる集合住宅遮音性能規準刊行小委員会と集合住宅遮音設計指針刊行小委員会にて AIJES の CD 作成に移行する。なお、本小委員会は、継続して集合住宅遮音性能規準と集合住宅遮音設計指針の AIJES 化のフォローを行っていくと共に次に作成する AIJES の検討、企画を行っていく。</p>